

今日の中東情勢とフランス外交への影響

La situation actuelle au Moyen-Orient et ses répercussions sur la diplomatie française

～2023年10月7日のハマスによる攻撃を転換点とする
今日の中東情勢をフランス外交の視点から読み解く～



[登壇者]

ファブリス・バランシュ (*Fabrice Balanche*)
リュミエール・リヨン第二大学准教授。専門は地理学。シリアを中心とする中東研究者。
ワシントン近東政策研究所(2015年～17年)及びスタンフォード大学(2017年～18年)客員研究員を歴任。

[コメンテーター]

高橋雅英 中東調査会主任研究員

[司会進行]

小島真智子 上智大学外国語学部准教授



[日時] 2026年 **1月7日** (水) 18時00分～20時00分

[場所] **日本記者クラブ** (日本プレスセンタービル10階Aホール)

東京都千代田区内幸町2丁目2-1

[参加費] 無料

[形式] 対面のみ。フランス語から日本語への逐次通訳あり。

[定員] 50名程度(お申込み先着順とし、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。)

[登録方法] 12月25日(木)までに事前登録が必要です。

右上のQRコードからお申込みください。



[問合せ先] SIIR 事務局 irr-ofc@sophia.ac.jp

[主催] 上智大学国際関係研究所 (SIIR)

[共催] 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)

「協働する都市と政府—フランスを事例とする多元的外交論の試み—」(小島真智子)

